

## 令和7年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立大森第一中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ICTの活用によって視覚的な自己分析ができ、つまずきに気づき練習の工夫につながった。
- ・生徒の安全意識を高められた結果、大きなけがなどを予防できた。
- ・団結力があり、勝負意識の強さから活動で話し合ったり、助け合ったりすることができた。

#### (2) 課題

- ・基礎学力の低さが原因で知識がなかなか定着せず、実技の水準と比較して考査の得点水準が低い。
- ・考える力が低く、学習したことを活用したり、説明したりすることが苦手な傾向がみられる。また、分析し考察する力も低いいため、できる理由やできない理由を説明することが困難である。

### 2 分析（観点別）

#### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な知識が身に付いていない。学習方法から教える必要がある。	調べる力はあるが、言葉での表現が乏しい。また、学習したことを生かして次の活動に生かすことが困難である。	時間意識が低いため遅刻が多かったり、遅れても急いだりしない。また、周囲への配慮が足りず、安全面の意識がやや低い。体育学習より保健学習の意欲が低い。

#### ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎体力、基本的な知識が身につけてきている。より高度な技能の定着を目指したい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに話をしながら、教える活動ができるようになってきた。</li> <li>・保健では、基礎知識を応用して、自分の意見や考えを具体的に書くことが弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組む生徒が多いが、集中力に欠ける部分も見られる。</li> <li>・保健学習では、ICTを活用してわからないことを調べる習慣がついてきた。</li> </ul>

#### ③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識・技能とも少しずつ向上している。活動において女子の体力が低いことが課題となる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの課題を把握し、解決に向けて互いに協力して活動することができている。</li> <li>・見分を広くすることが弱く、考察内容に考え方を深めることが困難である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に取り組む生徒とそうでない生徒の二極化が見られる。</li> <li>・安全面に配慮できない生徒が少し見られる。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>ランニング、専門的な運動を取り入れたウォームアップを継続的に行い、単元に合った基礎体力の向上を目指す。また、体育理論を通し、基本的な知識や体の使い方等を身に付けさせる。</li> <li>保健においては、日常生活を照らし合わせて内容を理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各運動の要点を正確にとらえ、自己の課題を見付けられるように指導していく。</li> <li>体と心について個人差があることへの理解を深めさせ、個々に適した頻度や内容を見付けさせる。</li> <li>日常生活に潜んでいる何気ないことから疑問をもたせる発問を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元始めのオリエンテーションをしっかりと行い、目標や安全面の配慮事項を明確にする。また規範意識を高めるために、授業内の時間配分も意識的に活動させる。</li> <li>協力的に活動できる意識の高さを大切にして、自他ともに思いやれる言動を育む。</li> </ul>

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的に体力向上に取り組んでいく。様々な動きを体験させる活動を行っていく。</li> <li>授業の導入時に前時間の振り返りを継続的に行い、基礎学力の定着につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カードを活用し、自己の取組の反省や課題を挙げ、毎時間目標を設定してより高度な技能習得を図る。</li> <li>振り返りの時間をしっかりと確保して、個々の考えを具体的にまとめさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教材（教材工夫）を活用し、より生徒の興味・関心が高まるような工夫をしたい。</li> <li>個別指導、グループ指導、全体指導での言葉掛けを上手く使い分けて、活動の潤滑油となるような支える言葉かけをする。</li> </ul>

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標や目的を明確にして、それに合わせた学習活動になるようにする。基本的な知識・技能を生かし、専門的な技能や生活習慣の習得を目指す。</li> <li>男女比率は女子が少ないことも挙げられるが、日常的に運動に接する機会が少ないため、授業の活動時間を確保するために計画的に進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した視覚的資料や学習カードを活用し、自己の取組みの成果や課題を挙見付けさせて、次の目標設定を行わせる。</li> <li>感覚でできてしまう動作やもっている知識を自分の言葉で説明できるように、話し合い学習を適宜活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を整理し、より深く考え、「できた」「わかった」という体験を通じて、生徒たちの自尊感情を高め、将来の豊かなスポーツライフにつなげられるよう指導する。</li> <li>単元の初めには具体的な安全面の説明を入れて、個々の安全意識を高める。</li> </ul>